

第 24 期 第 3 回 八尾市図書館協議会 会議概要

日 時 令和 7 年 7 月 31 日 (木)

15 時 00 分～16 時 40 分

場 所 八尾市立青少年センター集会室

出席者 (敬称略)

稲垣 房子	(元奈良大学 教授)
江岡 信行	(八尾市青少年育成連絡協議会)
坂本 篤史	(八尾市校長会)
川窪 和子	(大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 元図書館副館長 (現非常勤教員))
戸倉 信昭	(大阪市立中央図書館 利用サービス担当課長)
高田 正史郎	(八尾市地区福祉委員長連絡協議会)
鈴木 縁	(公募市民委員)

欠席者 (敬称略)

二宮 久子	(八尾市社会教育委員会)
近松 真定	(八尾市 P T A 協議会)
嶋田 学	(京都橘大学 教授)

事務局

太田 浩子	(教育委員会事務局副教育長)
川添 浩司	(教育委員会事務局次長)
永澤 行彦	(生涯学習課長)
上原 康男	(教育委員会事務局参事兼八尾図書館長)
浅田 耕司	(山本図書館長)
奥保 真一	(志紀図書館長)
鶴田 洋介	(八尾図書館主幹)
仲谷 智子	(八尾図書館利用サービス係長)
松本 繁和	(八尾図書館資料係長)
山口 みどり	(八尾図書館司書)
藤原 大輔	(山本図書館司書)
池防 治美	(志紀図書館司書)
川元 翔	(龍華図書館長：指定管理者)
長谷川 麻優子	(龍華図書館長補佐：指定管理者)

1. 副教育長あいさつ

2. 議題

① 令和6年度(2024 年度)図書館年報(資料1)

② 龍華図書館の事業実績及び計画(資料2・3)

委員：実績の数字について、その特徴的な部分について、簡単にお示し頂きたい。

事務局：計画の目標数値は、令和 10 年度にはコロナ禍前の数値に戻す目標を立てて取り組み、年々、少しずつ実績数値は上昇しているが、他市同様、コロナ禍前には戻っていないのが実情である。

このため、今後、計画改定時に目標数値を変更することも考えている。

また、今年度の取り組みではあるが、他の所属の行政施策との連携により、庁内各課の取り組みを発表する場として、図書館の活用に取り組んでいるところであり、現在 20 所属から活用希望を聞いている。

会長：行政施策との連携の取組で、具体例を示されたい。

事務局：7 月 20 日に参議院選挙が実施されたところであるが、選挙管理委員会からの要請により、子ども向けに実際の投票箱、投票用紙を用いて、八尾図書館のキャラクターに様々なコスチュームを着用させた図案を作成し、人気投票を行うことで、将来の有権者の育成をめざした取り組みを行ったところである。

会長：他市においても、目標数値は戻っていない。社会全体が変わってきている中、図書館の使い方についても変わって来ていると感じる。現在、図書館では様々なイベントを実施しており、それも新たな取組指標の 1 つになるのではないかな。

委員：10 ページの「サービス状況一覧表」については、大きく利用が上下することなく、安定的に図書館サービスを行っているという評価になるのでは。

コロナ禍前の目標数値に戻していくために、具体的にどの指標に表れるようにとの考えはあるのか。コロナ禍を経て、在宅利用できる電子書籍を積極的に取り入れていることも聞いているが、そういうところの数値を把握しているのか。

事務局：委員ご指摘のとおり、目標数値には達していないが、安定的に提供できていると思っている。

また、10 ページの 13 番「実質登録率」を上げていきたいと考えているが、中々上がらない状況にあり、今、色々取り組んでいるところ。

電子図書館については、令和 5 年 11 月から学校への ID 付与を開始し、非常に利用が伸びているため、今後デジタルで進めていきたいと思っている。

委員：10 ページの「サービス状況一覧表」について、他の公共図書館では、じわじわと右肩上がりになっているが、八尾市では令和 4 年度をピークに減ってきている。この辺をどう分析しているのか。

また、今年度と昨年度の統計を比較すると、貸出数と実利用者数は下がっているが、電子図書館利用においては、小・中学校に電子図書館の ID を配布し読み放題パックを導入したこと等によるのか、閲覧数とログイン数が大幅に増加している。

一方、教育振興基本計画では、入館者数の目標値を 90 万人と設定しているが、現状 75 万 3 千人で目標値が高すぎる。

他市のように、ホームページへのアクセス数やSNSの情報発信数等を目標数値に加味するのも良いのではと思う。

事務局：来館者数は増えているが、実利用者数は減っている。暑い中、涼んで頂く場所、サードプレイスの場所としても利用頂いている。そのような利用については、借出には繋がっていないが、それでも良いと考えている。

電子図書館の利用状況の目標数値への反映については、教育振興基本計画等の上位計画の目標数値を図書館の年次計画にも取り入れており、上位計画の見直し時でなければ変更できないが、図書館年報の「サービス状況一覧」については、工夫可能と考える。次回に向けてご意見を踏まえて考えていきたい。

委員：来館者数が増えているのは、多彩に行事を行っていること、サードプレイスとしての位置付けも認識されるようになったこと等によるのかと思う。

会長：電子図書館に関して、龍華図書館が中心的に動いていると思うので、龍華図書館長から出前講座等の取組状況を説明されたい。

事務局：出前講座については、令和5年度に病院職員向けに電子図書館体験会を実施し、今年度5月には、永畑小学校と龍華小学校の6年生を対象に電子図書館の実際の操作方法を説明し体験してもらうことにより、子どもたちに電子図書館を知ってもらう良い機会となった。

また、龍華図書館内では、一般市民向けに電子図書館体験会を定期的に継続実施しており、去年は、龍華コミセンの「コミセンまつり」開催時に龍華図書館のブースも設け、コミセンまつり参加者に電子図書館の存在を認知してもらうことができた。

会長：電子図書館の選書方法はどのように行っているのか。

事務局：基本的には、紙の図書と同様に、八尾、山本、志紀図書館と共同して選書会議を開催して決定・購入している。

会長：成人用図書の選書は、どのようなものか。

事務局：成人向けでは、例えば料理本や、るるぶ、まっぷる等の旅行ガイド本なんかも、手軽に持ち運べるため、旅先で電子書籍として利用できるということで利用されている。タイムリーなものとしては、万博関係の資料がよく利用されている。その他、読物等、様々な資料をバランスよく取り入れており、人気のものは多くの予約が入っている状況にある。

委員：コミセンまつりの際に電子図書館のブースを設ける話があったが、他の地域でも3か月前に事前に要請すれば開催は可能か。

事務局：3か月前に事前相談いただければ、会社と調整のうえ、返答する。

会長：前回の協議会でSNSの活用が議論となった。例えばLINE等の活用はどうか。

事務局：LINE等は活用していないが、教育委員会では、今年度から子どもだけでなく保護者に直接情報発信するシステム(sigfy)を導入したことにより、イベントの参加者が締切までにすぐに集まるなど、大きく伸びた。

まだ、図書館では活用していないが、今後、活用を検討することになると考えている。

委員：参加者を増やす上で、保護者を駆り出すことが、非常に大事。大人が子どもと一緒に参加する機会を増やしていけば、参加者も増えてくると思う。

委員：14ページの「年齢別貸出人数」を見ると、中学生までの数字に対して、高校生から22歳までの

世代の貸し出し数が伸びていない。先日、出前授業で「絵本で学ぶ情報リテラシー」を担当したが、情報が溢れている中で公共図書館の情報は信頼できる 1 つの指針になると思う。高校生、若い世代への情報発信の具体策を検討できればと思う。A I の時代になったからこそ、本を読むことによって、本質を考える力を子どもに身につけて欲しい。

委員：情報リテラシーについては、様々な教育機会に積極的に行っている。

学校から保護者に情報提供する時は、一昔前は紙媒体で子どもに配布していたが、最近はメールで直接保護者に届けるので、以前は保護者の目に触れるべき情報が手許に届いていないことも多々あったが、今はダイレクトに保護者のスマホに配信されるので、以前にも増して保護者に直接届くようになった。

保護者は、子どもに良いもの、良い本に触れて欲しいと考えていると感じている。

会長：3月の協議会の時に他部局との連携によるファーストリード・プロジェクトの話があったが、その状況を説明されたい。

事務局：八尾市では、以前ブックスタート事業を行っていたが、予算査定の方針により令和2年度を最後に廃止になった。今回、ファーストリード・プロジェクトということで、4ヶ月健診受診時に絵本の引換券と図書館に所蔵する絵本を紹介するチラシを配布して、市内に5ヶ所ある子育て支援センターを訪問する保護者に絵本をプレゼントしている。

委員：教育振興基本計画の中で、公共図書館と学校図書館との連携が書かれており、学校司書をテスト事業として2名配置しているが、今後に向けての進捗状況は如何か。

事務局：これまで、ボランティアの図書館サポーターを全校に配置していたが、令和6年度から2名を2校に職員として配置している。実績については、まだ情報を掴めておらず、今後確認してお伝えできたらと思うが、行政的には、司書の配置による成果の見える化が求められることになる。

会長：学校図書館の司書、先を見通してどうして行くかというのは、行政の仕事だと思うが、実績が良い方向、目に見えないと駄目ってことではないと思うが如何か。

事務局：全校にしっかり位置付けしていきたいという思いを持っているが、庁内的には、財政担当や政策担当と話をする際には、図書館サポーターとの違いについて一定の効果検証が求められる。

委員：大阪市では、最初、学校図書館補助員という形で職員配置を始めて、4年前に学校司書という名前に切り換えてやっている。400校近くの公立小中学校がある中で、人材の確保も含めて、今後の配置検討にあたって課題が多い状況にある。週4日勤務の主幹学校司書を現在28名配置しており、週1日兼務で配置される学校司書、教員にノウハウを共有している。

主幹学校司書は、4年目を迎えた今年度、配置校の見直しを行った。週4日から週1日になった学校からは、今まで出来ていたことが出来なくなったという意見が出ている。また、数字で示すことは勿論だが、定性的な部分での行動変容の積み重ねを数字で表現するような手法も議論しているところである。

会長：大阪市の例を参考にして努力は継続して頂きたい。協議会でも関心を持っているのでよろしく対応願う。

委員：ボランティア団体が行うイベントについても来館者への館内放送でのアナウンスをお願いしたい。

会長：各図書館ではボランティアの方、とても大きな力になっているので、イベントの実施者がボラン

ティアか職員かに関わらず、利用者に楽しんで頂くためには、広報も大事かと思うので、是非よろしく願いたい。

次に、障がい者サービス、やさしい日本語の図書館案内の取り組み状況は如何か。

事務局：現在、やさしい日本語の利用案内を作成した上で、中国語、ベトナム語等、外国語の利用案内を作成しているところである。

会 長：館内に配置しているだけでは、届けたい人に届かないので、ホームページに載せる必要がある。他市の図書館では、やさしい日本語、ひらがなで書いてホームページ上で広報しているので、そのように対応願いたい。

事務局：やさしい日本語の利用案内、外国語案内が完成すれば、ホームページに掲載していきたい。

会 長：一般的に図書館には、障がい者用に「りんごの棚」という特設の棚を設置しているが、山本図書館での取り組み状況は如何か。

事務局：「りんごの棚」には、読書バリアフリーの資料、LLブック（知的障がい、学習障がい、母語の違いなどで通常の活字図書を読むことが難しい人でも楽しめるように、やさしい言葉遣い、写真や絵、ピクトグラム（絵記号）などを多用して作られた本）、大活字本、触る絵本等を配架している。

委 員：21 ページの障がい者サービスのところで、対面朗読が数年間ゼロ件だが、朗読ボランティアが音訳テープを作成して対応しているのか、サピエ図書館、音声読み上げソフト等、多様な媒体にニーズが吸収されているのか、どのように分析しているのかを伺いたい。

また、障がい者サービスのホームページは、分かりやすくまとめられているが、デージー図書やテープ等の所蔵数も表示されていれば、さらに良いと思った。

会 長：対面朗読の利用がないのは、広報不足だと思う。

福祉部門との連携の中で、積極的にサービスを宣伝して頂きたい。

委 員：大阪市では、図書館の障がい者サービスについて、市内の関係機関が集まって、情報交換している。今、読書バリアフリー計画の策定にとりかかろうとしているが、図書館で受けられるサービスを知って頂くことを第1期読書バリアフリー計画の柱に据えようと考えている。

事務局：机上に配布している資料2点について説明させていただく。

1点目、「1970年大阪万博と今東光&2025大阪・関西万博から」について、八尾図書館にある今東光資料館の企画展示と兼ねて大阪府立中央図書館において今東光と万博との関係の出張展示を7月24日から8月13日まで開催している。

事務局：龍華図書館では、8月2日に開館10周年を迎えるため、10周年特別イベントを4つ紹介させて頂く。1点目は、「あの日の写真パネル展」を8月1ヶ月間、龍華コミセンの1階エントランスにおいて開館当時の様子を大きなパネル写真で見て頂く企画になっている。

2点目は、「おひさま楽団のてづくり楽器ワークショップ」で、8月17日に4歳から小学2年生までの子どもと保護者を対象に、手づくりの楽器でコンサートをするというイベントです。

3点目は、「龍華図書館10周年記念吹奏楽ミニコンサート」で、8月23日に龍華図書館内の階段で龍華中学校の吹奏楽部にミニコンサートを披露して頂くイベントです。

4点目は、「としょかん縁日」と銘打って、8月24日に中学生以下の子どもたち、保護者を対象にゲームに参加して頂ける、夏らしいイベントです。

司 会：次回の協議会は、令和 8 年 3 月 19 日（木）、午後 3 時から開催予定ですので、よろしくお願い
します。

会 長：それでは、今日は終わりたいと思います。
皆様ご協力ありがとうございました。

以上